

国際研究集会

高水準の数学的リテラシー のための 大学数学教育

International Workshop
Mathematical Education
for Non-Mathematics Students
Developing Advanced Mathematical Literacy

数学を専門としない一般の大学生への数学教育は世界的に関心を集めている極めて重要なテーマです。二十年近く前からのアメリカにおける数量的リテラシーへの注目や、現在世界的な広まりをみせているSTEM教育の実践はこのテーマに沿った取り組みとして挙げることができます。日本国内の議論に目を向ければ、数学を現実世界で活用する能力の育成という観点から、理工系だけでなく非理工系学生も含めた数学教育の拡充が日本の大学教育の課題として指摘されています。本研究集会では、下記のテーマとトピックについて、国内外の様々な議論と実践を共有し、大学におけるこれからの数学教育のあり方について考えます。ぜひご参加ください。

テーマ

I. 理工系のための大学数学教育

II. 学士課程目標の一つとしての
数量的リテラシーの教育

トピック

- ・線形代数や微積分の習得における効果的な学習のデザイン
- ・概念理解を促進するICTツールの開発
- ・授業デザインを目的とした数学的知識の認識論的分析
- ・大学レベルで身につけるべき数量的リテラシー
- ・現実世界で数学を活用する能力を育成する数学科目の開発

講演者

招待講演

Marianna Bosch (スペイン・ラモンリュイ大学教授)
Carl Winsløw (デンマーク・コペンハーゲン大学教授)
磯田 正美 (筑波大学人間系教授／教育開発国際協力研究センター長)
小笠原正明 (北海道大学名誉教授)
山口 和範 (立教大学経営学部教授／副総長(国際化推進担当))

研究・
実践報告

落合 洋文 (名古屋文理大学教授)
川添 充 (大阪府立大学教授)
五島 譲司 (新潟大学准教授)
小松川 浩 (千歳科学技術大学教授)
高木 悟 (工学院大学准教授)
水町 龍一 (湘南工科大学准教授)

●上記講演のほか、ポスター発表もあります。

| 日 時 | 2018年1月7日(日) 10:30 ~ 1月8日(月・祝) 16:30

| 会 場 | 工学院大学新宿キャンパス | 参加費 | 無料(懇親会は5000円(学生は2000円))

●詳しくはウェブページをご覧ください。[日本語] <http://iwme.jp/jp/index.html> [英語] <http://iwme.jp/>

事前に下記URLより
お申込み下さい。
(申込期限: 12月22日)

申込URL
<http://iwme.jp/jp/form.html>

主催: 科研費基盤研究(B) 16H03065 「高水準の数学的リテラシー」概念下の教育デザイン・実施・継続的改善とその理論
[問い合わせ先] 川添 充(大阪府立大学高等教育推進機構) E-mail: kawazoe@las.osakafu-u.ac.jp

共催: 工学院大学